



JAゆうべつ町

JAゆうべつ町広報誌

平成26年11月発行 通巻124号

KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だと感動しました。「JAゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれます様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。

イメージデザイナー スワン



収穫祭 もちまき

2014.11

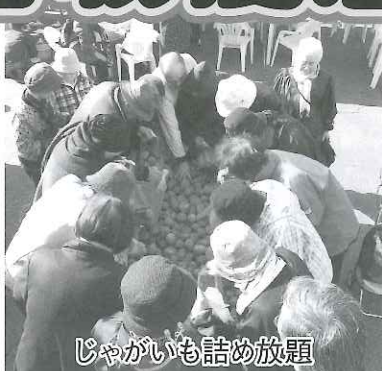
vol. 124

今年も大盛況

芭露収穫感謝祭



ビンゴ大会



じゃがいも詰め放題



ハンバーガー
大食いコンテスト



▲牛乳早飲み
チャンピオン



女性部
おしるこ無料配布

10月18日、芭露支所事務所前駐
車場にて「Aコープゆうべつ芭露
収穫感謝祭」が開催されました。
当日は晴天にも恵まれ、じゃが
いも詰め放題やモツ鍋販売には販
売前から行列ができるなど、会場
は多く来場者でにぎわいました。
恒例となった「ゆうべつ牛Bー
Gハンバーガー大食いコンテスト」
「牛乳早飲み競争」等のイベント
の他に、JAゆうべつふれあいま
つりで好評だった「オーケシヨ
ンでハンマープライス」も行なわれ
ました。
最後は恒例のお菓子まき、もち
まき、ビンゴゲーム大会で締めく
くり、無事収穫祭を終了するこ
とができました。

今年も大盛況

湧別町産業まつり



～マルシェ部会考案「ユペの里」も登場～

9月23日、湧別町産業まつりが
開催され、JAゆうべつ町女性部
では、マルシェ部会考案の牛乳う
どん「ユペの里」の試食販売を行
ないました。
水を使わずに牛乳だけで練り上
げた「ユペの里」。牛乳の風味豊
かな「牛乳味」の他に、かぼちゃ
のほのかな甘みと鮮やかな黄色い
麺が特長の「かぼちゃ味」の2種
類を販売致しました。
試食では幅広い年代の方からこ
好評をいただき、見事完売となり
ました。
現在はイベントでの販売のみと
なっておりますが、今後店舗等
でも販売する予定です。
また、当農協では恒例の牛乳・
ヨーグルトの
無料配布を行
ない、女性部
では新鮮野菜
の販売を行な
いました。
どちらも行
列ができる大
盛況となりま
した。ありが
とございました。



J A えんゆう ・ J A ゆうべつ町 組合長杯 少年野球大会

9月20、21日、湧別野球場にて第2回JAえんゆう・JAゆうべつ町組合長杯少年野球大会が開催されました。

野球を通じて、農業協同組合の事業理解を図り、地域貢献の一環として、明るく礼儀正しい健やかな青少年を育成することを目的にして開催される今大会には、湧別町・遠軽町・佐呂間町から8チームが参加しました。

開会式で当JAの坂東守副組合長は、「Aコープ・ガソリンスタンド・JAバンク等、JAの事業は身近にたくさんあり、この大会を通じて、JAのごと・農業のごとを知ってもらおう良い機会になればうれしく思います。精一杯頑張ってください」と開催の経緯を話すとともに、選手たちを激励しました。

なお、大会の結果は、決勝戦で遠軽東イースターズが5対2で湧別マリナースを下し優勝しました。

〈出場チーム（順不同）〉

- 中湧別野球スポーツ少年団
- 芭露バツファローズ
- 遠軽東イースターズ
- 遠軽南ジャガー
- 佐呂間ライオンズ
- 湧別マリナース
- 遠軽北野球少年団
- 遠軽西ファイターズ

〈大会結果〉

1回戦

中湧別	7 - 0	芭露
遠軽東	7 - 0	遠軽南
湧別	6 - 3	佐呂間
遠軽北	7 - 5	遠軽西

準決勝

遠軽東	6 - 3	中湧別
湧別	4 - 0	遠軽北

決勝

遠軽東	5 - 2	湧別
-----	-------	----

最優秀選手

植林優斗くん（遠軽東）

優秀選手

穴戸創吾くん（湧別）



優勝した遠軽東イースターズ



よりよい牛乳出荷の為に

女性部講習会

9月26日、JAゆうべつ町女性部では「バルク乳検査」について講習会を開催しました。

共済組合岡松獣医師を講師に迎え、バルク乳モニタリングの重要性やそれぞれの指標の意味、機器の洗浄の重要性などを学びました。



学校の先生がファームステイ

～ 青年部 食育推進事業 ～

9月と11月にJAゆうべつ町青年部では、学校の先生を対象にした、青年部員宅でのファームステイを行いました。

今回のファームステイは、教育機関との連携による食育の更なる推進を目的として実施されたもので、9月には湧別小学校の岩瀬先生が加藤勇青年部長宅にて、11月には幌延小学校の石井先生と寿都小学校の石崎先生が佐久間光紀青年部員宅にてファームステイを行いました。

加藤さん宅で搾乳作業の見学を行なった岩瀬先生は、「実際の搾乳の苦労や牛の習性など、今回のファームステイで体験した事を子供達に伝えていきたい」と加藤青年部長の話に真剣に耳を傾けていました。

また佐久間さん宅でファームステイを行なった先生方は、初めての搾乳体験で牛の大きさに驚きつつも、「苦労して心をこめて生産した牛乳をありがたく頂く事を子供達に伝えたい」と話していました。



搾乳作業を行う石井先生



岩瀬先生②と加藤青年部長④

2014 北海道ホルスタインナショナルシヨウ

9月27～28日、安平町で北海道ホルスタインナショナルシヨウが開催されました。

当組合からは管内共進会を勝ち抜いた5頭が参加し、そのうち3頭が見事1等に選出されました。

成績は以下の通りです。

〈第5部〉 2等8席

モナーク ダンディー ミックス

出品者 菅井慎也

〈第6部〉 3等9席

アレンファーム SANZカ

リナ

出品者 越智大輔

〈第11部〉 1等5席

ヘンドリカ サム ラステイ

出品者 菅井慎也

〈第12部〉 1等2席

レークランド DD チーフ

エイミー コー

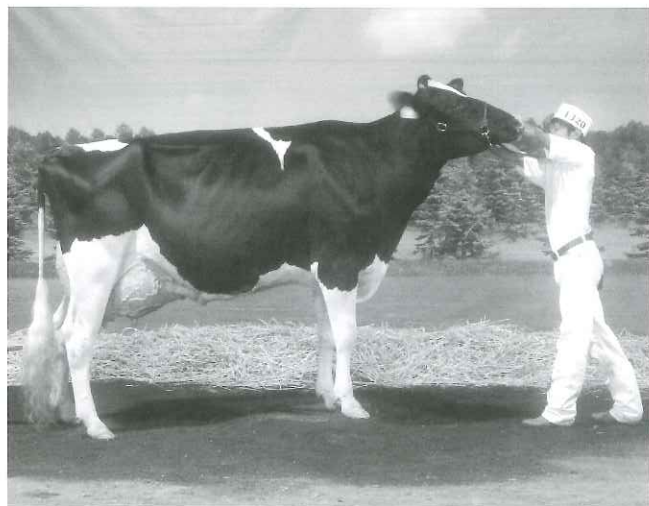
出品者 久保拓也

〈第13部〉 1等2席

モナーク チャンピオン ベ

チー

出品者 菅井慎也



東京で消費拡大運動 ～よつ葉ミルクフェア～

10月22～25日にかけて、東京都内にある「北海道とさんこプラザ」で消費拡大運動が行われ、女性部1名、農協職員1名で参加しました。

北海道とさんこプラザは有楽町駅の目の前にあり、いつも多くの人で賑わっています。各地区の酪農生産者が自分達の生産した牛乳を多くの人に知ってもらうために日替わりで行われました。

お揃いの牛柄のエプロンと三角巾を付け、乳製品の販売をしたり試飲をしていたり、いつもの仕事とは勝手が違い最初は戸惑う場面もありましたが、時間がたつにつれ声も自然に出るようになりました。

消費者からの乳製品についての意見を直に聞く事や、各地区の生産者と交流を図る機会はなかなかないので、とても良い研修になりました。

(報告 営農相談課 四関)



好天の下ではつらつプレー

～両地区年金友の会パークゴルフ大会～

9月25日、上芭露パークゴルフ場にて両地区年金友の会パークゴルフ大会が開催されました。

今大会には44名が参加し、好プレー、珍プレーにコースからは絶え間なく歓声が上がっていました。大会の結果は以下の通りです。

【男子の部】

優勝 中村 賢治
準優勝 大崎 武夫
3位 中川 藤男

【女子の部】

優勝 尾関 泰子
準優勝 小野 トシ子
3位 加茂 のぶ子

【ホールインワン賞】

安彦安則・黒田正晃
中川藤男・本田勝樹





『農協法公布記念日にあたって～平成26年11月19日～』

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で67年目を迎えました。

戦後の混乱期を背景とした中で、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立しました。

言うまでもなく、農協は「農民による農民のための組織」として発足いたしました。協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立った中で、相互扶助の精神のもと、農協を拠り所として幾多の困難な課題を乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の構築に向けた事業展開を行いながら、今日に至っています。

また、農協法は、時代の変化に即して必要な改正を重ねておりますが、農協の組織・事業を運営する基本法として、重要な位置づけ・役割を担っています。

このような経過の中、現在、規制改革の名のもと、農協組織改革に関し、各般にわたる論議がなされておりますが、農協法公布記念日を契機に、改めて農協が果たす社会的意義と役割について思いをはせ、共通認識を深める必要があります。

かかる状況のもと、JAグループ北海道はその時々々の国の農業政策を実践してきたという自負のもと、これまでの事業を再評価し、改めて組合員の皆様の多様な意見を把握するべく組織討議を実施いたしました。

これらの取組みをもとに、今般、「JAグループ北海道改革プランー実行計画指針ー」としてとりまとめ、今後その内容を踏まえ、JA・連合会・中央会は具体的な事業展開をはかることとしています。

「組合員の所得向上を通じた持続可能な本道農業の実現」と「農村地域の活性化を通じた豊かな地域社会の実現」をはかるべく、改めてJAグループが総力を結集し、国民各層の理解と共感を得ながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進していくことが重要であります。

新たな動きとして、先般、傘下組合員10億人から成る国際協同組合同盟（ICA）が農協改革に関する声明をまとめました。

声明では、「2014年が国連の国際家族農業年として定められている中、今般の日本政府の農協組織改革案は、農家による協同組織の結束と繁栄を脅かすものである」旨の懸念が示されております。

日本の農協組織に対して、国際的な組織から力強いメッセージが発信されており、自らの組織は自らの意志で運営し発展させていくという信念と覚悟が肝要であるとの思いを新たにしております。

一方、日本の将来に関する重要課題であるTPP交渉については、依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められております。

今後の動向は不透明かつ予断を許さない情勢にありますが、農畜産物の関税撤廃のみならず、ルール改定や規制撤廃を通じ、国民生活に大きな影響を及ぼしかねない危険な交渉であるとの認識に立ち、改めて国会決議の順守を強く求めるとともに、国民理解の醸成に向けた活動を展開していく所存です。

農業・JAをとりまく情勢は、依然として激動しておりますが、我々の先人達も、英知と力を結集し、その時々々の困難な状況を乗り越えてきました。

いつの時代にあっても共通して言えることは、食料は命に直結するものであり、生活に欠かすことができない極めて重要な位置づけにあるということです。

世界的に見ても、将来、人口増加とともに食料需給の逼迫が現実的な問題となっている中、農業というものを競争原理主義一辺倒で捉えるのではなく、それぞれの国・地域における多様な農業の共存をはかり、持続可能な生命産業としてどう発展させていくかという、大局的な視点で捉えることが極めて重要であります。

我々、農業者・JAグループは、農業という生命産業に携わっているという責任感と自負心を持ち、併せて、農業・JAに対する国民の理解と共感を得る不断の努力を行いながら、先代が長年かけて築きあげてきた本道農業並びに農業協同組合の礎をさらに発展させ、後世にしっかり継承できるよう、共に頑張ろうではありませんか。

今後とも、本道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。

農協 お知らせ 版

平成26年度 第10回理事会
平成26年9月26日開催

報告事項

① 第2四半期の監事監査の実施について

② よつ葉乳業取締役会

③ オホーツク酪農畜産対策委員
農水省畜産部意見交換会

④ JAゆづべつ町ふれあいまつり

⑤ よつ葉乳業紋別向上発電施設起
工式

⑥ オホーツク農協組合長会視察研
修

⑦ オホーツク農協組合長会議

⑧ 本支所地区合同年金友の会パー
クゴルフ大会

⑨ 平成26年8月末生乳生産実績

⑩ 自由金利型定期貯金の受入と貯
金残高の推移

⑪ 組合員の営農実績について

協議事項

① 組合員の異動について

② 収穫感謝祭の開催について

- ③ 平成26年度原料甜菜受渡業務
立会人の推薦について
- ④ 平成26年度肥料大口需要対策実
施要領の制定について
- ⑤ 規定類の改正について
- ⑥ JA全国監査機構監査指摘事項
の回答について
- ⑦ 第2回内部監査指摘事項の回答
について

平成26年度 第11回理事会
平成26年10月20日開催

報告事項

① 獣魂慰霊祭・オホーツク地域化
成場運営委員会

② 北海道生乳受託販売委員会

③ 地区酪農畜産対策委員会

④ 収穫感謝祭

⑤ 平成26年9月末生乳生産実績

⑥ 自由金利型定期貯金の受入と貯
金残高の推移

協議事項

① 畜産特別資金の貸付について

② 法人への貸付について

③ 高齢者に対する記念品の贈呈
について

④ 自己査定に係る資産評価額の
設定について

⑤ JA共済コンプライアンス点
検結果及び改善方針について

⑥ 農事組合長会議の開催につい
て

⑦ 規定類の変更について

⑧ 営農懇談会の開催について

大変お世話になりました



芭露支所共済係 大山仁美

この度、平成26年10月31
日を以て退職いたしました。
平成20年3月に入組し、
本所金融共済課、芭露支所
共済係として六年七カ月勤
めさせて頂きました。
在職中は組合員の皆様を
はじめ、役職員の皆様には

大変お世話になりました。振
り返してみると、皆様にはご
迷惑をお掛けしたことも多々
ありましたが、ご指導をいた
だいたおかげで社会人として
多くのことを学び、成長する
ことが出来ました。

最後になりますが、湧別町
農業協同組合の益々の発展と
皆様の健康と御多幸をお祈り
申し上げ退職の挨拶とさせて
いただきます。
長い間、お世話になり心か
ら厚くお礼申し上げます。本
当にありがとうございました。

Aコープ 岳上 哲也
短い間でしたが、お世話
になりました。





普及センターより

夢実現への必要家計費を考えてみましょう

一、どんな夢がありますか？

わが家の農家生活をどのように暮らしていきたいですか？そのため、「いつ」「どのくらい」の資金が必要でしょうか？家族のライフサイクルによって必要な家計費は変化します。長い周期で家計費を捉えること

で、資金の準備が可能になります。そのシミュレーションのために、網走農業改良普及センターではオホーツク版生活設計Naviを作成しました。

二、オホーツク版生活設計Naviでできること

- ①現状の確認
 - ・世帯毎だけではなく、家族全員の家計費や所得とのバランス等が確認可能です。
- ②家族のライフサイクルを考慮し

た家計費の見積もり
・家計費が最も多い時期や、貯蓄目標金額を確認できます。
③農業所得と生活費のバランスの確認

三、実現へ計画を立てましょう

・今の農業所得で今後の教育費が確保できるのか？
・機械の買い替え時期と家計費のピーク時期を確認できます。
④家族それぞれが描く農業経営の方向性や農家生活の夢などを話し合うきっかけづくり
・教育費の変化と金額の確認ができます。
・所得確保への農業経営内容の確認のきっかけになります。
・家族行事の計画が検討できます。

変化に対応するため、具体的な計画に取り組みませんか？「必要額を確保するため、こんな風になります」と思える環境を作り上げ、農業経営を行いましょ！
生活設計NaviはパソコンのExcelで操作できます。普及センターに問合せください。

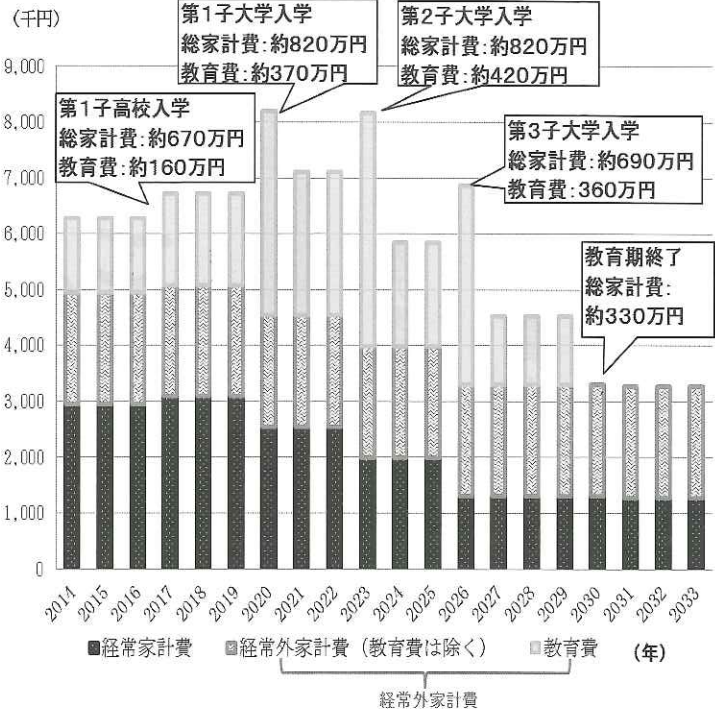


図1 Naviを活用した経常家計費と経常外家計費の推移 (例：経営主夫婦 + 子ども3人：公立高校 + 国立大学進学)

平成26年度 生乳出荷状況について

